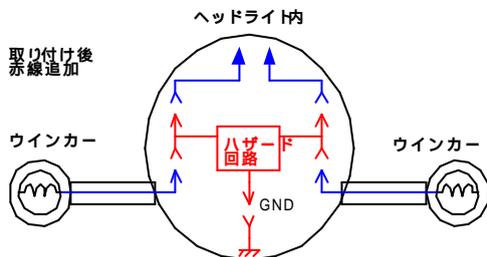
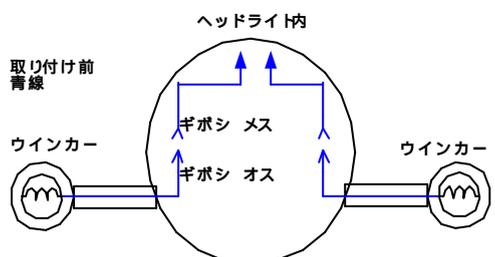


26点

1. ウィンカースイッチ左ONで電源が立ち上がる その時点ではU1-15RSTはHとなりU1はリセット状態となる (U1-7はL)
2. 1mS後にTA, TBが立ち上がりU1-RSTはLとなりカウンター動作を開始する
3. 5mS後TCが立ち上がりU1-INはHとなりカウント値を1とする
4. ウィンカースイッチを右に動かすと スイッチは一瞬OFFとなり次の瞬間ONとなる
OFFになった1mS後にTCは立ち下りU1-INをLとする
次に右側ONとなった5mS(TC)後にU1-INはHとなりカウント値を2とする
5. 同様に再度左をONした場合にカウント値は3となりU1-Q3はHとなる
FETはONし左右のウィンカーが同時に点灯する
またU2-3/4 13がHとなることによりTAによるリセットは無効となりU1-Q3はH状態を維持する
U1-Q3がHになることによりU2-2/4 6がHとなりU1-INはH状態固定となり以降カウントをしなくなる
6. ただしON OFFへ移行した 0.3Sec後にTAは立ち下る
その結果U1-RSTはHとなりカウンターはリセットされる
よって0.3Sec以内に右側(左側)をONさせなければいけない
0.3Sec以内に右側(左側)をONさせればRSTされずカウントは継続する
7. その状態で0.5Sec経過するとウィンカーリレーにより入力電圧は0Vとなり ハザードランプは消灯状態となる
その瞬間からTBが立ち下りを開始し0.7Sec後U2-3/4 12はL、U2-INはHとなりカウンターはリセットされ
しかし実際には0.3Sec後に再び入力電圧は12Vとなるためランプは点灯し動作を継続する
8. これを繰り返してハザードが点滅をくりかえす。
9. ウィンカースイッチをOFFにする事により入力電圧が0Vとなるためランプは消灯する
ただし内部回路は0.7Sec間ハザード状態を保持しているため
0.7Sec以内に再度ウィンカースイッチをONにした場合はハザード状態となる
0.7Sec以上経過した後にウィンカースイッチをONした場合は通常のウィンカー動作となる



マイナースラインにもギボシを入れると簡単に脱着出来る

		FILE NAME			
SCALE	/	MATERIALS	TITEL	ハザードリレー回路図	
UNITS	m/m	DWG.DATE	DWAING No.	* * * * _ * * _ * *	
CONTENTS		ANGLE	'06.**.**	taka-laboratory	
DATE					